常磐毎日新聞

日刊

十一月十日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料 普通一行五拾錢 場所指定一行七拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治 平・長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二二〇番

天氣豫報

今晩は北の風雨後晴
明日は北西の風次第に寒くなる

小賣値決定と共に 量りを減らすなと
平署が米穀商に注意を促す
違反防止陣强化

白米の最高價格設定に伴ひ昨報の如く平市内の小賣値段も決定を見たので平署ではこれが違反防止並に趣旨の徹底をはかるため管内米穀商や精米業者に對し左の如き諸項を注意することになつた

△運搬その他の名義で不當の利益を貪らぬこと

△移出の場合には統制協議會の指示に基くこと

△精米業者は四俵精米で一俵の米糠が出來る（約二圓）手數料で採算がとれる故銘柄、等級、量目などを嚴守すること

△風袋及實量の表記をすること

△公定價格及び銘柄、等級、量目を嚴守し見本を店頭に陳列すること

尚生産者には玄米公定價格違反の闇取引をせぬ事と同時に十分脫穀するやう注意せられたいと望んでゐる

在平日刊記者 團結成る
近く創立總會
當番制で幹事決定

在平日刊記者倶樂部の創立委員會は今十日午前十時から市役所の記者室に開き事務所を市役所内に置き春秋の二回總會を開くこと其他を協議した外近く創立總會を開くことになつたが當番幹事は左の如く決定された

▽十一、十二、一月—新いわき、報知、いばらき△二、三、四月—時報、民報、東朝▽五、六、七月—常毎、民友、讀賣△八、九、十月—磐新、河北、東日

中支に散る

澤渡村中寺出身舊吉田部隊田子忠治一等兵は去る八日中支〇〇で戰病死された旨この程自宅に公電あつた、同一等兵は兩親すでになく出征前まで農業を營んでゐた眞面目な青年で家庭は妻かよさん（二八）との間に長男傳君（七）次男榮君（四）の二兒がある

鎌田町農家の「藁細工競技會」
十七日開催と決定
優勝者に賞品授與

（旣報）平市鎌田町農家の副業たる「藁細工農具類」の競技會は開催準備中の處來る十七日同町草野七五三之助氏方倉庫前廣場に開催することになつた當日は作品を陳列する外競技會を催し審査の上それ〳〵賞品を授與する筈

平市が郡と聯合 農産物の品評會

平市農會及び郡農會では聯合して農産物品評會を開催することになり十五日午前十時から平園休事務所で打合會を開く

地代家賃審査委員
地方關係者

地代家賃の引上げ停止に伴ひこの程福島縣地代家賃審査會が組織されたがこれが役員中地方關係者は左の如くである

△委員平稅務署長川鍋孝藏、平市長菅沼鉾太郎、町村長會石城支會長伊藤茂之助、平區監督判事菅間正英、平警察署長柴田鍋作、平市山崎與三郎、同猪狩庄平

本邦唯一人 婦人の小學校長
四倉が木內女史を招く

四倉町國防婦人會では十二日午前十一時から小學校で總會を開き豫算並びに決算を附議の上我國唯一人の婦人の小學校長として知られた東京市板橋志村第一小學校長木內キヨウ女史の海外視察談を聽く

遺家族の慰安映畫
看護婦長の講演

旣報、平市愛婦及び國婦兩分會では明十一日午後一時から磐女講堂で午後六時からは市公會堂で遺家族の慰安を兼ねた映畫と講演會を開くが講師は今次事變に日本赤十字社看護婦長として活躍した石田みさ女史である

平愛國婦人會の忠靈顯彰の資金
▽……五百六圓餘に達す

平愛國婦人分會ではこの程全市内から忠靈塔顯彰資金の募集を行つたが南町、鎌田町を除き五百六圓三十二錢に達した、その內譯は左の如くである

△二丁目一〇、二〇△大町一九、〇〇△四丁目六、三〇△銀冶町六六〇△田町四六、六〇△南白銀一三、七〇△胡麻澤七、二〇△材木町三七、四〇△久保町一五、〇〇△北白銀三三、〇七△搔槌小路三〇、〇五△研古三一、五〇△新川町三一、一〇△五丁目四一、五〇△三丁目二八、二〇△舊城跡三九、一〇△長橋町二六、一〇△八幡小路九、三〇△仲間町一三、七〇△紺屋町四七、〇〇

塙檢校の遺品展覽

勿來町字西野町塙五郎さんは十五日から開かれる信夫農學校創立三十年記念展に「塙保己一檢校」の遺品その他五點を出品するが五郎さんは塙檢校四代の孫で出品物は檢校が江戸へ究學の際負つた笈、正四位の御贈位御書

半島人坑夫 取締りの警官

常磐各炭礦における半島人取締り警官として今度平署特高課に福島署から根本博美氏、中村署から

木村新郵便局長の横顔
小名濱支局通信
支局長 小野務平

小名濱郵便局長後任問題ては前局長が身許引受人となつた金成忍忠君が臨時局長代理として一時的でも任命を見た小名局長には直ちに金成局長實現と見る向きもあつた、此れと前後して各有志家連中も前局長の親戚風を吹かして出願するものも相當の數に上つたのは旣報の通りであるが之を尻目に仙臺遞信局人事課では平局長をして退官せしめたかどうか木村久氏（小林と報じたのは誤り）が去る一日附で任命を見た

これで町民待望の局長問題は各有志家の出願も水泡に歸し堂々木村氏の就任を見るに至つた事は一面慶賀すべき事である事に異議はない然らば新局長の木村氏は如何なる人物かと云ふ所になると遺憾ながら平局長時代に一回の面談を交はす機會なく小名濱局長となつて初めて其溫容に摘する事となつたのである

赴任三日目の十日の朝、局に電話で出勤中せ否かを問合すると未だゝとの返事であるのでまゝよ、自宅訪問もさる事ならむと共私邸に急いだ

局長私邸は小名濱總鎭守諏訪神社前字諏訪前で正に聖場神域とも云ふべき淸々しき所に誰かの手に依つて新築された相當廣い住宅である午前八時に垂んとする頃の訪問は先方でも面喰つた樣な譯けである

なぜかと云ふと新築成つたと云ふものゝ荒壁で襖、障子は骨組だけでまた、紙張りして居らぬ未完成の住宅と來て居る、上り込む勇氣も拔け佇んだ儘氏の出會を待つと云ふ現狀には猶更驚かざるを得ない令孃さんであたらうお父さん御客樣ですと聲に應じて現はれたのが紅顏蠻聲骨格魁偉、豊頰肥滿、成程これならば濱邊の荒風にも困惑を見る樣な事が絕体なからうと直感した

佇立しての應接僅かに數分唯御多忙でせうへ、此通りで又落つきませんと簡單に數論を交はし再會を期して辭去したのである

元來小名濱町は禮節に倣はない程の氣分が漲つて居る、其處で人の惡いは磐城の平、それに續くは小名の濱と云ふ諺が相當根强く流布されて居る、平市の人が惡いか否かは木村氏旣に試驗濟みである筈だ小名濱町に至つては勿論初めてあらうが平市に進入をかけた位に思つたならば大變な間違ひはあるまいと思ふ然しよし如何に人が惡いとしても木村氏のあの態度とあの骨格とては恐らくは人の惡い小名濱人には負ける心配ない事だけを見て記者は安神の臍を固めて引き下つた

（完）

スヰッチ一つで 人命を奪ふ
業務上の過失
禁錮四ケ月を求刑

小名濱町日素工場技師一柳文二（二七）に係る業務上過失致死事件の公判は九日午前十一時から平區で菅間判事係り平島檢事立會の下に開廷檢事から禁錮四ケ月を求刑されたが判決は明十一日

同人はスヰッチの入れ方を間違つたばつかりに職工の柏原泉君（二六）がフライホールに捲込まれ即死したものである

藝妓を動員 遺家族慰安

四倉町藝妓屋組合では三十餘名の紅裙連を動員六七の兩日四倉座で關係將士の遺家族慰安演藝大會を開催したが純益金百十九圓九十一錢に上つたのでこのうち五十圓を忠靈塔顯彰金に寄附したほか殘額六十九圓九十一錢を町の銃後奉公會に寄附した

蛭田君戰傷

山田村出身佐藤（誠）部隊蛭田勇一等兵は中支〇〇の戰鬪で右肩肝部に貫通銃創をうけた、家庭には父亡く母アキさん（三三）妹チヨノさん（三三）テル子さん（一）ヒヤクさん（九）弟貢君（三）がをり農業を營んでゐる

植田有權者

植田町では十五日から二十日まで本年度町議並に衆議院議員選擧有權者名簿を開覽に供する

柔道昇段者審査

磐城柔道有段者會は十二日午前十時から平商道場に於て昇段審査會を開催する、審査料は一圓

自動木馬 發明考案展へ

第七回特許局發明考案展覽會は目下東京市丸の內商工奬勵館で開かれてゐるが地方からは內郷村上野竹治氏が「自動木馬」を出品した

勿來强行軍

勿來町小學校では明十一日を健康增進勵行日と定め身心鍛錬のため五年以上の兒童が各學年毎に附近の山へ登る强行軍を催すことになつた

磐女の……銃後勤勞

磐女では勤勞奉仕と國防獻金をかねこの程二日間に亘り一年生は蝗取り三年以上は近郊の稻刈りを奉仕した

總務部長の小名濱視祭

本縣總務部長內藤三郎氏は昨九日午後四時來濱築港其他視察午後六時より歡迎會に臨み新米旅館に一泊の上今朝九時植田方面に向つて出發した

平市人事

回出生

△白銀町三九鈴木次郎氏二男明雄君
△鯨岡字田中山四目下上遠野村字本町杉崎松雄氏二男昭君

回婚姻

△茨城縣西茨城郡穴戶町大字矢野下一二七六江田隆幸氏（二九）と古鍛冶町三一遠藤ウメ子さん（二三）

懲役刑一年

旣報防空演習の夜自轉車を搔拂つた內郷村磐炭坑夫前科二犯一村一郎（三三）に係る窃盜事件の公判は九日午後一時から平區で開廷されたが菅間判事から平島檢事の求刑通り懲役一年の判決を言渡された

盜んだ短靴を 平氣で履く

內郷村磐炭坑夫靜岡市鷹匠町生れ內山猿太郎（三三）は去る五日午前十一時頃磐炭病院入口に半島生れの同礦坑夫白水字滋井場朴徹守さんが脫いで置いた短靴一足この價格八圓を搔拂ひ素知らぬ顏で每日履いてゐたところを九日平署に檢擧されたが他に餘罪あるらしく目下嚴重取調べ中

大陸へ向ふ

小名濱町字竹町國井梅雄君は滿蒙開拓の一大使命を知り義勇青少年團に參加し本町初めての聖業に就く事となつて昨九日午前九時出發した

植頭氏逝く

平市長橋町元區長植頭鶴松氏は昨夜逝去、明十一日午後一時出棺、松堂院に埋葬する享年、六十六

キネマ

▼平館——日活京都超特作月形龍之介、市川小文治、瀨川路三郎、香住佐代子、深水藤子主演『山彥呪文』ワーナー特作ギャング映畫エドワードGロビンソン氏ジョーンブロンデル孃主演『彈丸か投票か』日活多摩川特作山本禮三郎、片山明彥、日暮里子、瀧花久子主演、『美しき首途』外ニュース

▼世界館——松竹大船特作上原謙、三浦光子、夏川大二郎、三井秀男主演『愛情部隊』新興東京超特作美鳩まり、宇佐美淳、淡島みどり、大友壯之介主演『泣き笑ひの天國』松竹京都作品海江田讓二、本郷秀雄、伏見信子主演、『千兩判官』外ニュース

▼聚樂館——東寶の巨作大河內傳次郎主演、千葉早智子共演『淸水次郎長』長谷川一夫、山田五十鈴主演『鶴八鶴次郎』三映社提供ダニエルダリュー主演『禁男の家』外ニュース

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇子供の時間▼後六、二五講演「東亞建設と國民精神の作興」加藤咄堂▼後七、三〇國民歌謠▼後七、四〇講演▼後八、〇〇浪花節「火線を守る水兵」本多哲作、末廣友若▼後八、三五ラヂオ小說「高山彥九郎」

明日の部

▼前九、四五幼兒の時間▼前一〇、〇〇衞生メモ▼前一〇、二〇家庭の時間「澤庵の漬け方」木田才次郎▼後〇、〇五土曜コンサート▼後三、〇〇婦人の時間「我村銃後婦人の活動に就て」小野寺とめち▼後六、〇〇子供の時間▼後六、二五講演「東亞民族と新秩序の建設」朱鼎▼後七、四〇官幣大社橿原神宮本殿遷座祭御模樣—奈良縣畝傍町官幣大社橿原神宮より中繼▼後八、〇〇◎傷病將士慰問の夕◎浪花節村正改心錄京山華千代他

家傳 安流丸

梅毒と たい毒
吹出物に はれものは
安流丸 に限る
阿部藥舖
平市田町

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽淸
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
內科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科
平市田町 電話五一三番
——◎看護婦至急募集——

大塚の…… 實質サービス

純毛冬のヂヤンバー 八・五〇より 高級最新型
純毛 スキーズボン 一二・〇〇より
サージ・メルトン 普通長ズボンに…
外各種 豊富
◇牛皮製品 男女學生靴 紳士靴 小供靴 各種
其他各種運動具……豊富
平市田町銀座通 大塚 電話七七番

洋品物は！
平市田町
玉屋
電六五六

內科 外科 一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町 電話三五八番

戰國諜傳

大井沢龍一作　山科一郎畫

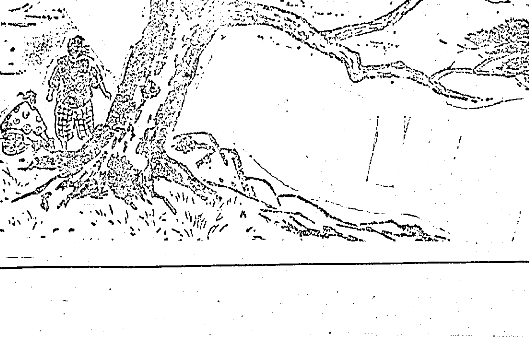
第百十四回

めぐりあひ（四）

楠は暫く[illegible]顏を伏せ、[illegible]〳〵と泣いた。金兵衞も淚を[illegible]にせまつて言ひ[illegible]げに翻かへるより外はなかつた。

三人は東の白む時分まで、ひそ〳〵と語り明けた。過ぎ去つたお互の身の上話がすんだあとは、此の先をどうするかといふ大切な相談にうつらねばならなかつた。

「楠樣、貴樣に遊ばされては如何に御座りまする。貴女樣は是より京へ御立戻りの上、京極の御縁家にお身のことを御話しなされ、暫らく御匿留のうちには叔父上樣（院樣）も一應表より御附[illegible]なさるで御座りませう。それをお待せの上、[illegible]として叔父上樣へ御々に御對面、御田命の儀を將軍家へ御願ひ下さるやう御願りなされませ。



大御所樣將軍家をはじめ德川一門の覺えなみ〳〵ならぬ叔父樣のこととなれば十中八九まで此事成就いたすかのやうに心得まする」

金兵衞のこの策は一も二もなく楠に刎ねつけられて了つた。

「それは藪を負つて火に近づくやうなもの、かへつて危いことぢや。御台樣內府樣淀樣御兩所御助命の儀を願ひ立てた折にさへ確に聞き届けたと佐渡守をもつて沙汰し置き乍ら、その舌の根も乾かぬうちにあの仕末德川家に何の慈悲があらうぞえ。戰を催して根も枯らさねばとあつて只一人の御世嗣、まして男の御子なれば猶のこと、それこそ飛んで火に入る夏の虫も同然、その樣な申出いたさば、また捕つておびきよせ御首級をあげられることは必定、殊に先年父上が關ケ原の戰ひに從ひいたした際からずとの事にて、既に首を打たれうとした時に、叔父上が大御所に御歎き申上げやうやくのこと御助命をうけ、高野山に追放となつた。と云ふ因縁のある、我が父上が此の叔父をや大阪方に加擔いたしたことについて定めし心苦しくござらうゆえ、[illegible]上申出したならば妾の前を差出すや[illegible]にならぬも知れぬ」

「では如何樣になされまするか何うよい思案でも」

「妾に別に思ふ仔細もないではないが兎に角一旦京に立戻つた上樣によつては、關府結束までもあるまいか……」

何か心に決するものがあるかの如くキリッと顏を上げて楠は次の言葉を云ふか云ふまいかと思ひまどつてゐる樣だつた。

金兵衞は楠の言葉におどろいた

「えッあの江戸へ」

「ついては金兵衞。若君樣をお匿まひする場所によい心附きはあるまいかのう。妾の心當りは只その目的を達するまで、どこか人のわからぬ所に國松丸を匿ひくれる人がないかと金兵衞に相談した。そこで金兵衞がやつと苦しい頭からしぼり出した工夫

「あそこならば大抵よろしからふと存じまするが――」

その金兵衞の思ひ付いた場所は若君がまた常樂院に預けられぬ前に秀賴公から傳へ役として附けられた田中六左衞門といふ者があつた。その男がその役目を申し受けてから京の嵯峨野に隱遁し、うき世をよそに、連歌や能狂言にふけつてゐると云ふことであつた。彼とは二三度逢つたこともあり、極めて忠實な主人思ひの老人であるから、其處へ若君をお連れ申して匿まつて貰つたら如何うであらうか、前に豫告して親しみもあり身にかへても保護してくれるだらう。德川方にしてもあそこまでは氣がつくまいと思ふからと云ふわけだつた。

これと云つて外によい思案もない折柄それは至極妙案を得たよい思ひつき、そこで相談一決して、其處へ國松丸をお連れ申すことにした金兵衞は、自分は[illegible]にまかせて河內に行き、[illegible]ねた上來るつもりだと決心を語つた。

「父の日」提唱

橫山美智子

靜かな秋風の訪れとともに、嚴そかな靖國神社の秋季大祭が近づいて來た。

人々は爽涼の秋の社頭に額づいたとき、この夏、炎暑の中を全國から參集して父の靈に對面した千何百の子らのいたいけな姿を記憶によびもどすだらう。

來年は、櫻の頃に、あの尊い對面の日がとり行はれるといふ。

……

字を見ただけでも痛ましすぎる「遺兒の日」といふ呼び方が、幼い心に與へる影響について、今から考へておくことは、早すぎはしないと思ふ。悲壯な責任感を、子らの心によびおこすといふ力強さはあるとしても、それが暗さに蔽うちされて、やわらかな子らの心におしつけられていゝものだらうか。國家將來の至寶である一人々々の子らの尊い記念の日をもつと明るい希望にみちた呼び方に改めることはあの催しの內容的光輝を子らの心に生かす上に重大な關係があると思ふ。

……

「父にあふ日」としたら、同じ具體的であるとしても、子らを勵ましなぐさめ力づける新しい希望の誕生の日に相應しくはないだらうか。母の愛を感謝する「母の日」が外國からはじまつて、日本の美しい年中行事にならうとしてゐるのに鑑み、この日を「父の日」として全國民が守るやうにしたら、日本の生んだ「父の日」の意義は、一身を東洋新建設の使命にさゝげた英靈の魂と永遠に結びついてかゞやくだらう。「母の日」あつて「父の日」なきうらみも立派に消され、櫻さく靖國、尊い父にあふ遺兒の子らとゝもに父を祭ひしのぶ日を新たに生活のページに加へることは、精神總動員の秋に最もふさはしいことではなからうか。

小ばなし

「私は酒屋の前を通つただけでよつぱらちまふ」といふので「それぢやビール會社の前はなほ通れませんね」「どうして」「はて、小便がちかくなりませう」

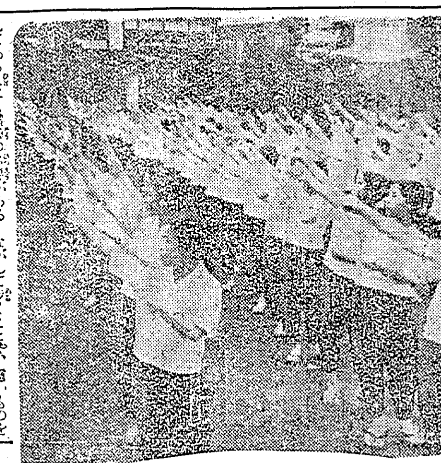
機械に追はれて
國民體力の低下
かくて體操こそ必要
擧つて朗らか精神も健康へ

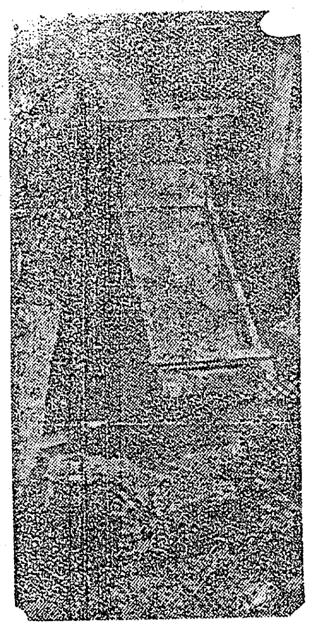
國民一人殘さず鍛錬を――の聲の下に厚生省では國民體操、青年體操、女子青年體操を制定して、その普及に大童ですが、一體勞動してゐる人にも體操の必要があるでせうか？また手をあげたり、足をあげたりすることがそれほど重要なことでせうか？さうした疑問に對し厚生省體育官栗本義彦氏は「體操の再認識」をといてゐます

昔はそれほど重要なことゝは考へられてゐなかつた體操が、どうして現在とりあげられてゐるかといふならば國民體力の低下といふことが眞劍に考へられて來たからです

世の中が文明になればなるほど人間は體を使はなくなります。【機械】の發達は人間が體をながして歩くことや、重いものをもち運びすることを馬鹿らしいことゝして輕べつするやうになりました。これは特に都會生活者に多い現象ですが、その結果、徴兵檢査に現れたことは、百人のうち四十人ら五十人はどこにも病氣はないが體が弱いといふ青年の增加したことです。かうした國民の體力低下は、體を使はぬために身體が弱くなつてゐることを證明してゐるものですが、それ以外に分業の發達した今日では肉體の局部的な使ひ過ぎによつて、また弱くなつてゐる人達の多いことも考へられます、たとへば常に立つてゐる職業とか、または座つたまゝの職業などは、自然そこにいろいろな障害が現れてきます。職業的な動作といふものは肉體を局部的に使ふことゝその運動の大部分が、物をひつぱるとか身體をちぢめるといふ屈筋だけの運動であり、手をあげても足をあげても極限までやらずに一定の限度しか行はず特に背中や、横腹を使ふといふ動作がほとんどありませんそこに老人になつて腰がまがつたり、手や足の關節の【屈伸】に不自由を來たす最大の原因が發見されます。從つて身體を使はぬ人はもちろんですが局部的にしかからだを使はぬ勞働をしてゐる人も、こゝに全身の各部を動かす體操特にからだを伸ばす運動、背中や横腹を使ふ體操の必要が生じてくるのです。今日の體操は昔の體操とちがつて、ただ體操に力を入れてやるといふ體操ではありません。むしろ力をぬくことを考へてをります。この解緊脫力こそ彈力性のある刺戟に對して、鋭敏な反應力をもつ肉體を創造することができるからです。それと同時にいまゝでの手や脚の運動から、胴體の運動へと進んで來ました。體操の生命はこの胴體にあるといつても過言ではありません。特に婦人は腰を張る運動と腰を鍛へる運動によつて腹筋を強め丈夫な子供さんを生むやうに心がけてほしいものです。

【體操】は強制されていやいややるよりも、朗かな氣もちでやらなければ氣分の轉換といふ精神的な効果は得られません。多人數で愉快に音樂などに合せ、よく體操の精神を理解してやる方が効果的なワケです。





收穫の秋

死產の多いわけ
女より斷然多い男
無理な勞働を避けよ

人的資源を確保する上から、乳幼兒の死亡はでき得るかぎりの努力をもつてこれを防止せねばなりませんが、それとゝもにお絕たいになくしたいものです。ことに前の歐洲大戰の經驗からいつても戰時には死產がふえる傾向が強いのでこの際とくに妊婦の方及びその家族注意されたいものです。

腹の赤ちやんを死なして產むやうなことは絕對になくしたいものです。ことに前の歐洲大戰の經驗からいつても戰時には死產がふえる傾向が強いので、この際とくに妊婦の方及びその家族は注意されたいものです。
人的資源を確保する上から、乳幼兒の死亡はできうるかぎりの努力をもつてこれを防止せねばなりませんが、それとゝもにお腹の赤ちやんを死なして產むやうなことは

死產とは姙娠七ケ月後に胎兒が死んで生れるものをいひますが昭和十一年におけるわが國の死產數は約十一萬で、出產の約五パーセントを占めてをり人口千について約一、六の割合です。男女別では出生の場合にくらべて、男は女より非常に多くなつてゐます。即ち出生の際の割合は女一〇〇にたいし男一〇五ですが、死產では女一〇〇にたいし男一二〇の割です。これは一般に男兒は育ちがたいといはれてゐる[illegible]に、胎內でも男兒は女兒にくらべて弱いためとみる事ができます。だから同じ原因をうけても男の胎兒は死にやすいわけです。死產はまた姙娠九ケ月のものが多く、總數の三五パーセントを占めてゐます。アメリカのある產院のしらべでは死產の原因は梅毒が一ばん多く、ついで內臟畸位（一種の畸形）、中毒症（姙娠中毒）などの順となつてゐますが、また別の調査では分娩時の外傷が一ばんおほく、なつてゐます次に死產を身分別にみると私生兒が多く、ぜんたいの約十九パーセントを占めてゐます。（出生に私生兒の割は百人のうち五人）これは私生兒の出產がいかに好ましからざる境遇のもとになされるかを有力に物語るものです。近來死產は大都市においてやゝおゝい感がありますが、農村ではことに高率で、またとくに農繁期に[illegible]です（六大都市では出產の約[illegible]パーセント、中都市では同じく五パーセント上）これはむろん過重な勞働に起因してゐると考へられます。せつかく一家の期待のうちに孕み月もちかく成長してきた胎兒が、死んで生れたのでは當の產婦の悲嘆もさることながら、一家としても一人の貴い人的資源を失ふことになります。[illegible]おゝい[illegible]にたいして、はじめのうちにこれを[illegible]バルサンその他による[illegible]行ひ[illegible]のないやうにせねばなりません！

俳聖名句集

……秋の夜や障子のあなが笛を吹く　一茶

……古池や蛙とびこむ水の音　芭蕉

……夕月や雨を溜たる池のうへ　蕪村

……杖突きて庄屋を見舞ふ野分哉　蕪村

……きばめるや山も有馬のゆかた染　宗因

へちま
夏の役目を果して

ヘチマ水　ヘチマのつるを根元から一尺七八寸のところを鋭利な刃物でブツリと切り、根の脇に一升位はいるビンのよく洗つたものをおき、根のついた方のつるを曲げて切り口の方をビンに差し入れ、そこに雨水が流れ込まぬやうに紙でセンをしておけば、一夜に二三合以上のヘチマ水がたまります。

そのまゝにしておけば一本のヘチマの根から一升、くらゐはとれます根元のつるからばかりでなくヘチマの實の五、六寸位の若いものも頭の方を切つてビンの口にさかさにしておくと少量ではあるがヘチマ水が滴下します。

かうしてとつたヘチマ水は腐敗しやすい性質をもつてゐますからはうろう引鍋か或はガラス鍋のビーカーにいれて一度煮沸殺菌し、ビールビンのやうなものに一ぱいにして密栓をして冷たい所に貯へておきます。

このヘチマ水で化粧水を作るには百五十グラムのヘチマ水にアルコール二十グラム、グリセリン二十グラムをいれます

目覺し時計

◈……目ざまし時計は、できるだけ利用してください。きまつた放送、家業をしながらほかの用事をする時、食事の支たく、その他なんでも時間をまもり、度忘れをするのをふせぐのに家庭では一日中利用の方法があります。

時局小說

驀進

（松竹映畫化）

士別三樹

北野傳画

第一步（五）

第五回

勝子は病院からの電話で、驚いてそこ／＼に病院へ駈けつけた。

受付で訊くのももどかしく、案內して吳れる若い看護婦に、容態を訊ねたりしたが、父の顏を見るまでは醫者の言葉も信じられないやうな氣がしてならなかつた。

病室へ入つた彼女は、其處に見知らぬ若い男性を認めると、はやる心を押へて、出來る丈け靜かに枕邊に近付いて、輕く目禮し、父の傍へ寄つた。

血の氣のない、蒼ざめた父の眠つた顏を眺めると、勝子は思はずそこにへた／＼と膝をついた。

「お父さん、わたしですわ、お父さん……」

彼女の聲に、今迄眠つてゐた老人は、ドンヨリと眼を開いた。

「おゝ勝子か、何、大したことはない、一寸突き當つただけで、何處も痛んでゐらんさうだから心配せんでもいゝ、家でも心配してるだらう」

父の意外元氣な聲を聞くと、彼女もいくらかホッとして

「とても吃驚しましたわ、自動車に突き當つたんですつて？まあお顏に血が付いてますわ」

「うん、少し急いだもんでな、飛んだ失敗をしてしまうたよ」

父親が話してゐる間、一兵は少し離れて立つてゐたが、靜かに近づいた。

「どうも、飛んだ事をいたしました……」

一兵を見ると、老人は

「勝子、この方に色々御厄介になつた。お前からもよくお禮を申上げてお吳れ」

「[illegible]、父が色々御厄介になりまして」

「いや、御厄介なんて、私の方こそ[illegible]飛んだことをいたしまして、何とお詫の申し[illegible]もありません、[illegible]さんにも[illegible]心配をおかけして、[illegible]お詫[illegible]いたします」

一兵は彼女に名刺を渡してから、その時の容態を詳しく話した。

[illegible]は實際に元氣を回復し大したこともないから歸ると云ひ出した。入院料のことなどを心配してゐるのではないかと思つたので、一兵はあはてゝ

「いや、そんな無理をなさつては困ります。若しも惡化するやうなことでもあれば私達も困りますから——それに一切の費用も濟んでゐますし、一週間は入院の手續きもしてありますから何卒暫らく御靜養下さる樣お願ひいたします」

「そんな御迷惑をかけては濟まん。なアに家に寢てゐても治りますちや」

父親の傍から勝子も

「父も元氣で御座いますから、そんな御心配はどうぞ——」

といふのをやつと說きつけて、彼が病院を出たのは、十一時をもう過ぎてゐた。

（隨分美しいひとだな）勝子を一瞥見た瞬間から彼はさう感じた。スラリとした體にピッタリとセルを着付けた美しい姿は人眼に映つたし、その上品な顏立ちには何となくインテリ好みの魅力があつた。

その翌日、一兵は會社から歸ると早く父親の病院へ飛んで行つた。

老人は、すつかり元氣になつてベットの上に起き上り、一兵と將棋をやつたりした。勝子も父の元氣な姿を眺めると、心から嬉しくなつて、父と一兵の話の中へ入つたり、一兵に冗談を云つたりして笑つた。

一兵は每日會社の退けるのを待ちかねては病院を訪ねたが、[illegible]で早くなることがあつた。

もう一週間の入院の日も明日といふ日に、一兵は何時もの樣に病院を訪ねると

[illegible]

二人は[illegible]

專門
……◇……
花柳病科
婦人科
產科
……◇……
▼入院隨意
井坂醫院
平市田町　電話五五九番
◉見習看護婦募集

吸入用酸素　99%純度
モノサシ　マス　ハカリ
度量衡
計量器
體温計　寒暖計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關內藥局
電話四〇番
◈寫眞材料一式販賣致シマス

一、產婦人科
一、外科一般
一、花柳病科
小名濱町小學校前（元土井醫院跡）
黑澤醫院
醫學士　黑澤廣
電話四五番

メガネ専門の店
メガネは絕對信用ある當店に
先づ御相談下さい…………
玉屋　平市本町二町目

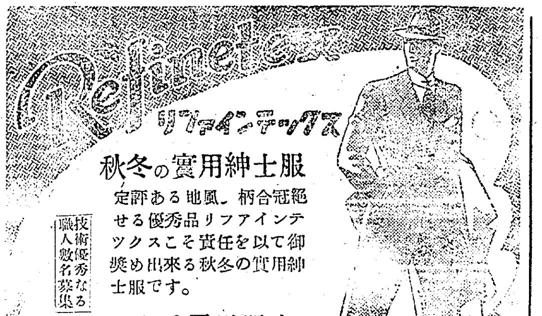
磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平市五丁目
電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇番
振替仙臺一五〇一番
（藤森事務用器商會）

平市田町
…お買物なら在庫品豐富な…
銀座通り
玉屋洋品店
電話六五六番

平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

◎女車掌（三名至急募集）
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス



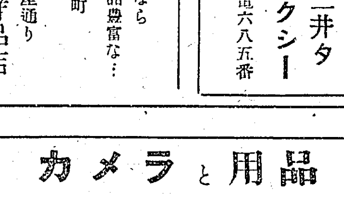
リファインテックス
秋冬の實用紳士服
定評ある地風、柄合冠絕せる優秀品リファインテックスこそ責任を以て御奬め出來る秋冬の實用紳士服です。
技術優秀なる職人數名募集
大崎屋洋服店
平市銀座　電96

お醬油はヤマフル
醬油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
釀造元
鹽屋
福島縣平市
電話一〇・二七番
明治生命磐城代理店
山崎與三郎

花柳病科外科
木村外科醫院
平市南町（警察署通り角）電話三〇九番

外科一般　レントゲン科
內臟外科　泌尿器科
北川外科
平市新川町二七
（電話四六四番）
醫學博士　北川芳夫
◎晝夜診療・入院臨時・血液檢査每日

カメラと用品
現像引受



お用命は
西村屋藥局寫眞部
平2・電3

◇食慾の秋！
フクジケンの
一口カツを
召し上がれ
電話二八番
平市田町
（出前迅速）